

小型トラック 制動装置（電動パーキングブレーキ）のリコールについて

（届出日：令和6年10月24日、作業開始日：令和6年10月25日）

リコール番号 5560

UDトラックに車両を提供しているいすゞ自動車株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。対象車両をご愛用のお客様には、ダイレクトメールにてご案内いたしますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますようよろしくお願いいたします。お客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

小型トラックにおいて、電動パーキングブレーキシステムの制御プログラムが不適切なため、

- ①停止直前の電動パーキングブレーキ作動操作により、パーキングブレーキの引きずりを誤検知して電動パーキングブレーキ警告灯が点滅し、パーキングブレーキが解除できなくなるおそれがあります。
- ②電動パーキングブレーキ作動時に、正常なパーキングブレーキケーブルのストローク量を異常と誤検知し、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯するおそれがあります。
- ③電動パーキングブレーキ作動時に、パーキングブレーキケーブルのストローク量を正しく認識できないことがあります。そのため、電動パーキングブレーキ作動操作の繰り返しによりケーブルが緩み、周辺部品と干渉することで、ケーブルの損傷やライニングの摩耗が生じ、最悪の場合、ケーブルが切断し、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯するとともに、駐車中の車両が動き出すおそれがあります。

2. 改善の内容

- ①②全車両、電動パーキングブレーキコントロールユニットの制御プログラムを対策プログラムに修正いたします。
- ③ 全車両、電動パーキングブレーキコントロールユニットの制御プログラムを対策プログラムに修正いたします。また、パーキングブレーキケーブルを点検し、損傷が認められた場合には、ケーブルを新品に交換するとともに、ブレーキライニングの摩耗量を測定し、摩耗が認められた場合には、ライニングを新品に交換いたします。

3. 対象車両

- UDトラック株式会社が発売している小型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラック	2RG-BJR88AT 2TG-BJR88AF	「カゼット」	BJR88-7000001～BJR88-7000003 令和6年3月22日～令和6年4月12日	3	①3 ③3
	2RG-BKR88AT 2RG-BKR88C 2TG-BKR88AF		BKR88-7000001～BKR88-7000005 令和6年3月19日～令和6年5月20日	4	①4 ③4
	2RG-BLR88AC 2TG-BLR88AM		BLR88-7000001～BLR88-7000004 令和6年3月23日～令和6年5月9日	4	①4 ③4
	2RG-BMR88AC 2RG-BMR88M 2TG-BMR88C		BMR88-7000001～BMR88-7000005 令和6年3月15日～令和6年4月19日	5	①5 ③5
	2PG-BPR88AC 2RG-BPR88AC 2RG-BPR88AM 2TG-BPR88AC 2TG-BPR88AM		BPR88-7000001～BPR88-7000017 令和6年1月25日～令和6年4月18日	16	①16 ③16
	2PG-BPR88YM 2RG-BPR88YM		BPR88Y-7000002～BPR88Y-7000012 令和6年3月19日～令和6年5月9日	11	①11 ③11
	(計17型式)		(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和6年1月25日～令和6年5月20日	(計43台)

<ご注意>

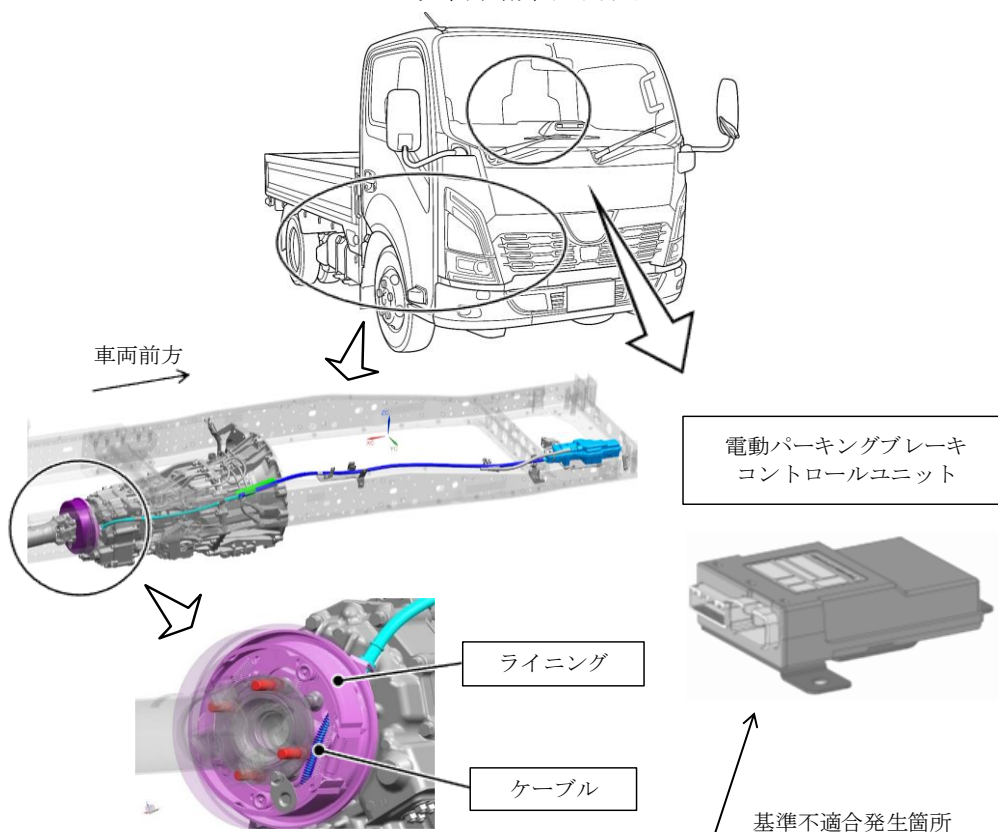
- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もあります。詳しくは最寄りのUDトラック販売会社にお問合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラック株式会社 お客様相談室
〒362-8523 埼玉県上尾市大字老丁目1番地
フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図



- 小型トラックにおいて、電動パーキングブレーキシステムの制御プログラムが不適切なため、
- ① 停止直前の電動パーキングブレーキ作動操作により、パーキングブレーキの引きずりを誤検知して電動パーキングブレーキ警告灯が点滅し、パーキングブレーキが解除できなくなるおそれがある。
 - ② 電動パーキングブレーキ作動時に、正常なパーキングブレーキケーブルのストローク量を異常と誤検知し、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯するおそれがある。
 - ③ 電動パーキングブレーキ作動時に、パーキングブレーキケーブルのストローク量を正しく認識できないことがある。そのため、電動パーキングブレーキ作動操作の繰り返しによりケーブルが緩み、周辺部品と干渉することで、ケーブルの損傷やライニングの摩耗が生じ、最悪の場合、ケーブルが切断し、電動パーキングブレーキ警告灯が点灯するとともに、駐車中の車両が動き出すおそれがある。

改善の内容

- ①②全車両、電動パーキングブレーキコントロールユニットの制御プログラムを対策プログラムに修正する。
- ③ 全車両、電動パーキングブレーキコントロールユニットの制御プログラムを対策プログラムに修正する。また、パーキングブレーキケーブルを点検し、損傷が認められた場合には、ケーブルを新品に交換するとともに、ブレーキライニングの摩耗量を測定し、摩耗が認められた場合には、ライニングを新品に交換する。

識別： 助手席側ドア開口部のシリアルナンバープレート右上に識別ペイント（桃色）を塗布する。

注： は、措置する部品を示す。